

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 50 号

第 50 週(12月10日～12月16日)

発行年月日:平成19年(2007年)12月20日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

感染性胃腸炎に警報発令!! インフルエンザの発生は増加傾向

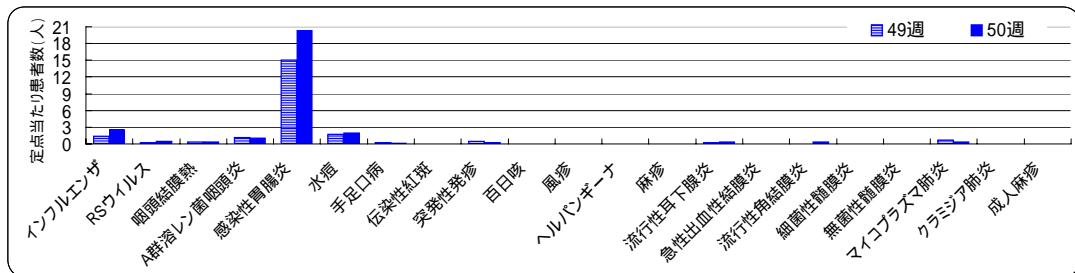
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は前週の報告数よりさらに増加し、特にインフルエンザおよび感染性胃腸炎で多くなっています。今週はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等多くの疾患で増加しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、咽頭結膜熱(プール熱)は高島で、感染性胃腸炎は甲賀、東近江および長浜で警報発生開始基準値を超えています。また、水痘は彦根および高島で注意報発生開始基準値を超えています(基準値については、今週の発生状況参照)。

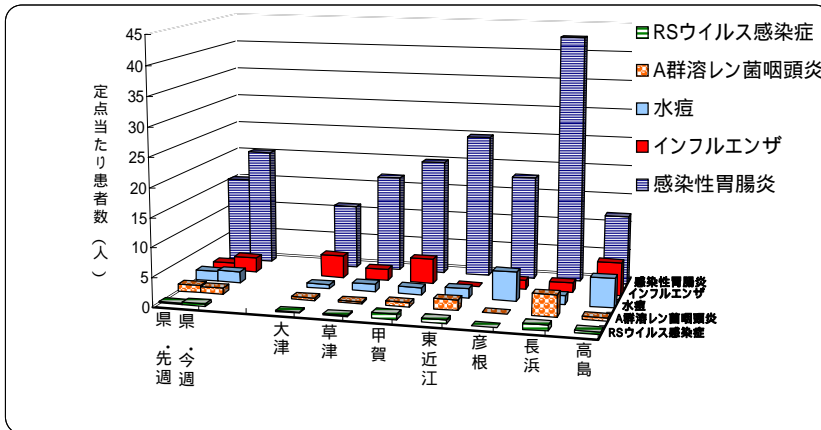
なお、感染性胃腸炎については県全体の定点当たり患者数が警報発生開始基準値 20.00を超えているため、感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システムによる情報提供要領(滋健第1426号 平成18年11月1日施行)により警報を発令しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で3名、五類感染症のアメーバ赤痢で1名、劇症型溶血性レンサ球菌感染症で1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第50週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、インフルエンザ、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、RSウイルス感染症の順に多くなっています。

感染性胃腸炎は先週よりさらに増加し、特に長浜で急増しています。インフルエンザは大津、甲賀および高島で多くなっています。

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム

感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム(厚生労働科学研究事業)では過去5年間の患者発生状況をもとに疾患ごとに警報レベルおよび注意報レベルの基準値を設定し、その基準値を超えた時に流行発生警報(警報)あるいは流行発生注意報(注意報)という表現により流行状況を示しています。

流行発生警報(警報)

大きな流行が発生した、または発生している可能性があるという情報を提供しています。

流行発生注意報(注意報)

今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性がある、または現在も流行が継続している可能性があるという情報を提供しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (50週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (50週)	全国 (50週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	3	171	18,525	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	12	1	47
	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	438	^{(*)3} 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	55	4,544	54	3,910
	パラチフス	0	1	20	0	24
四類感染症	E型肝炎	0	1	52	2	70
	A型肝炎	0	1	149	21	316
	デング熱	0	1	88	0	57
	マラリア	0	1	50	0	61
	レジオネラ症	0	7	631	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	1	15	753	8	738
	ウイルス性肝炎	0	2	225	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	4	139	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1	93	6	107
	後天性免疫不全症候群	0	9	1,403	8	1,301
	ジアルジア症	0	1	51	1	87
	梅毒	0	2	684	4	625
	破傷風	0	0	87	1	115
	急性脳炎	0	2	211	1	160

*1: 平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第50週(12/10～12/16) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: A型肝炎 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 11例
二類感染症: 結核 269例	オウム病 1例	クロイツフェルト・ヤコブ病 4例
三類感染症: 細菌性赤痢 1例	Q熱 1例	劇症型溶血性
腸管出血性	つつが虫病 20例	レンサ球菌感染症 1例
大腸菌感染症 27例	ライム病 1例	髄膜炎菌性髄膜炎 1例
腸チフス 2例	レジオネラ症 9例	バンコマイシン耐性
四類感染症: デング熱 2例	五類感染症: アメーバ赤痢 7例	腸球菌感染症 2例
マラリア 1例	梅毒 9例	急性脳炎 1例

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点^{*}から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。^{*}疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第45～50週、11/5～12/16)

疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	45週 (11/5～)	46週 (11/12～)	47週 (11/19～)	48週 (11/26～)	49週 (12/3～)	50週 (12/10～)	週 46 47 48 49 50
インフルエンザ	0.32	0.30	0.94	0.83	1.38	2.56	
RSウイルス感染症	0	0.09	0	0.13	0.22	0.44	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.19	0.09	0.09	0.22	0.34	0.34	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.78	1.09	0.97	1.00	1.19	1.03	
感染性胃腸炎	4.47	6.81	6.63	11.88	15.06	20.31	
水痘	0.78	1.00	0.94	1.78	1.75	1.94	
手足口病	0.22	0.16	0.13	0.13	0.25	0.06	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.06	0.06	0	0	
突発性発しん	0.41	0.53	0.56	0.56	0.47	0.25	
百日咳	0	0	0	0	0.03	0.03	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0.09	0	0	0.03	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.34	0.47	0.22	0.28	0.28	0.38	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.86	0.29	0	0.14	0	0.29	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.29	0.14	0.14	0.71	0.29	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

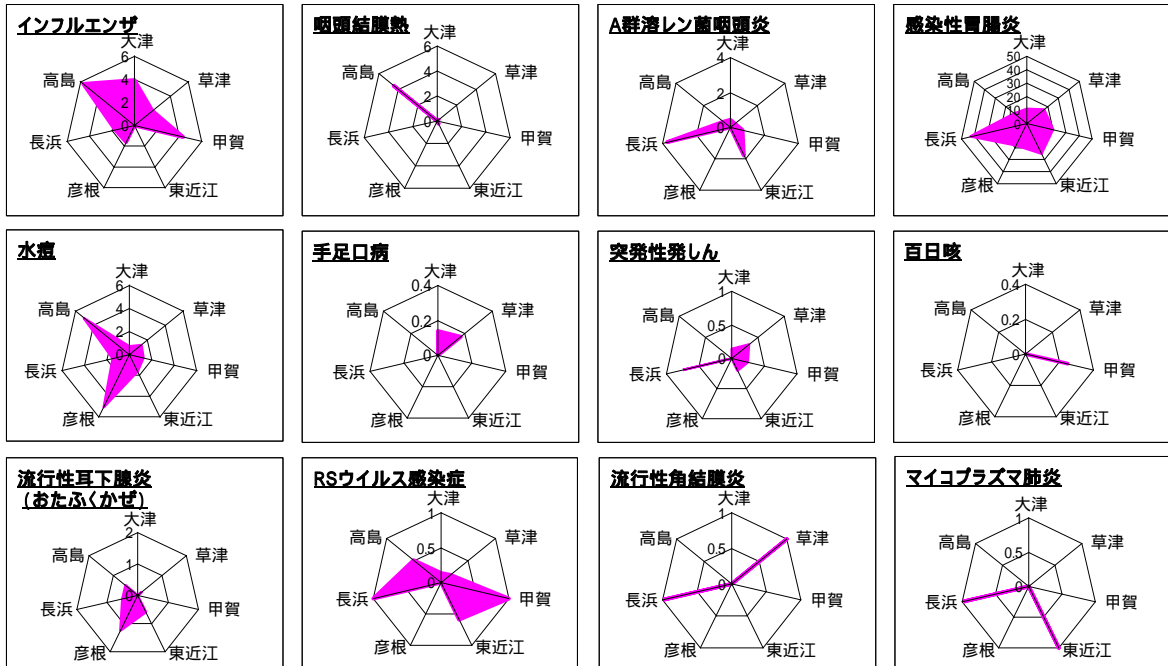
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第50週, 12/10～12/16)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	2.56	3.91	2.00	4.29	0	1.57	1.71	5.67	
RSウイルス感染症	0.44	0.14	0.17	1.00	0.60	0	1.00	0.50	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.34	0	0.17	0	0.20	0	0	4.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	0.43	0.33	0.75	1.80	0	3.75	0.50	
感染性胃腸炎	20.31	11.14	16.83	20.00	24.80	18.00	42.75	12.00	
水痘	1.94	0.71	1.33	1.25	1.60	5.00	1.50	5.00	
手足口病	0.06	0.14	0.17	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.25	0.14	0.33	0.25	0.20	0	0.75	0	
百日咳	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.38	0	0.17	0	0.60	1.25	0.50	0.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	1.00	0	0	0	1.00	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	1.00	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

0 3 6 9 12 15 18 21
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

- インフルエンザ-----県全体の定点当たり患者数は2.56となり、東近江以外で先週より増加しています。特に、草津、甲賀および高島で急増しています。
- 咽頭結膜熱-----高島では先週の倍増となり、先週に引き続き警報開始基準値(2.00)を超えています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週よりさらに増加し定点当たり患者数は20.31となり、警報開始基準値を超えています。特に、甲賀、東近江および長浜で多くなっており警報開始基準値を超えています。
- 水痘-----県全体では先週よりやや増加し、彦根および高島では注意報開始基準値(4.00)を超えています。
- RSウイルス感染症-----県全体では先週よりかなり増加し、甲賀および長浜で多くなっています。

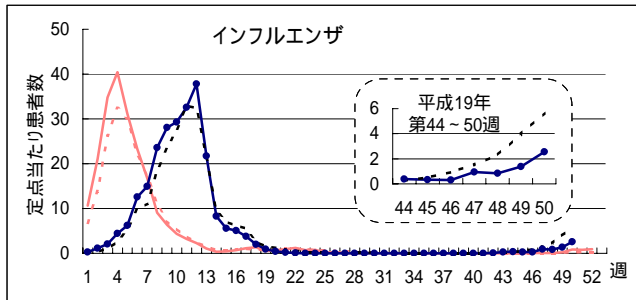
警報・注意報の基準値

対象疾患	警 報		注 意 報 開始基準値
	開始基準値	継続基準値	
咽頭結膜熱	2.0	0.1	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	7.0	4.0	4.0

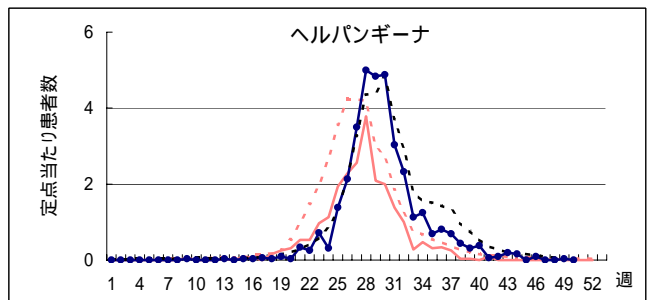
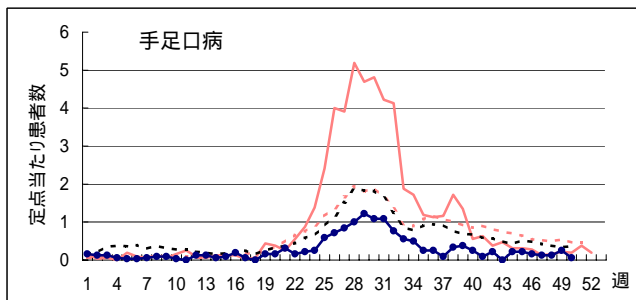
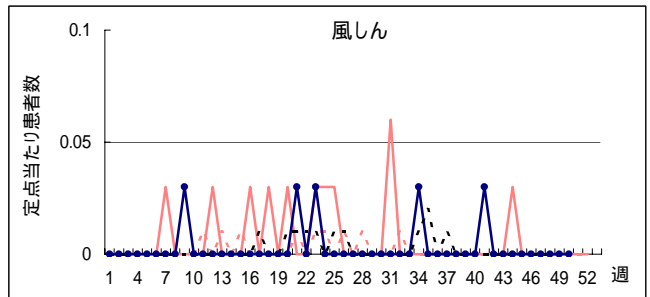
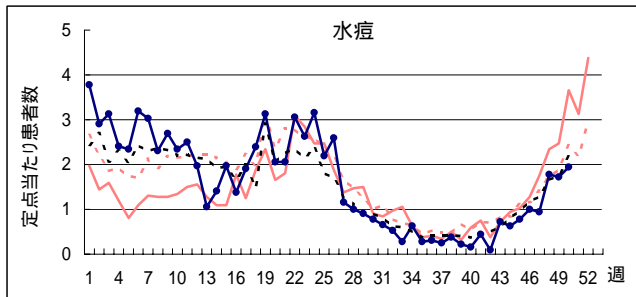
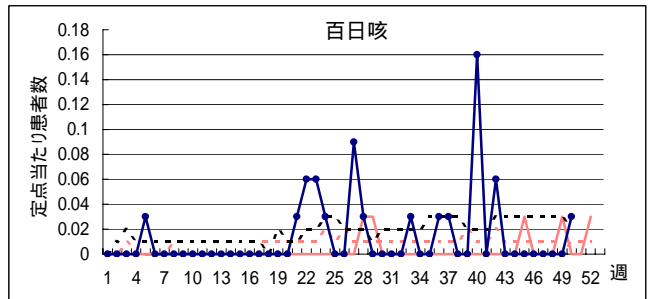
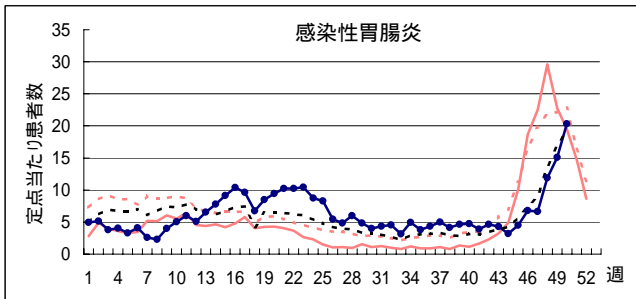
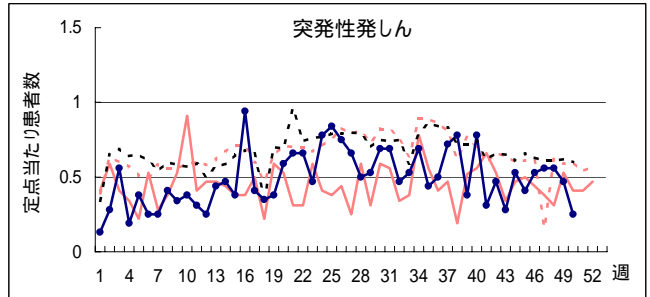
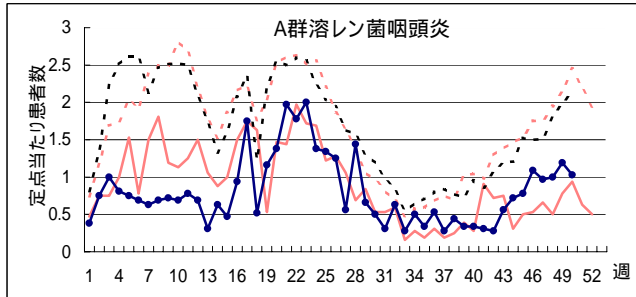
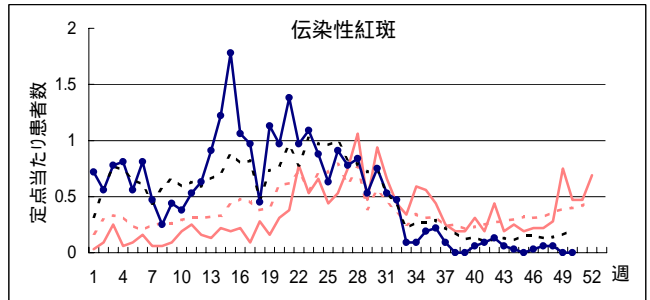
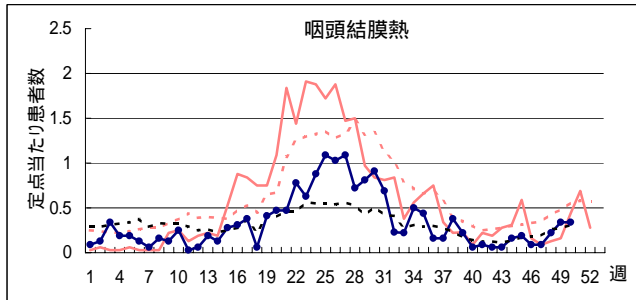
基準値は定点当たり患者数
-は注意報の対象外

戻る

疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第50週、H19.1.1～H19.12.16)



H18 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H19 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第50週、H19.1.1～H19.12.16)

H18 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

H19 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 - - - - -

